

令和5年度 教職課程に関する自己点検・評価結果概要

内部質保証最高責任者 坂井 貴文
(令和5年度第9回内部質保証委員会了承(令和6年1月11日))

1. 国立大学法人埼玉大学における教育の内部質保証に関する規則別表2に掲げる評価事項

「自己評価」とは内部質保証責任者による自己点検・評価結果で、「確認結果」とは内部質保証実施責任者による「自己評価」の確認結果である。

「○」基準を満たしている。

「△」基準を満たしているが、改善を要する事項が認められる。

「×」基準を満たしていない。改善を要する。

教職課程に関する自己点検・評価

分析項目	評価事項	評価基準	評価実施主体	内部質保証責任者	自己評価	確認結果	改善事項の概要	改善結果	改善結果の概要
-	5-1 1年間の授業期間	1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものになっているか。	教養学部	教養学部長	○	○			
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	○			
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○			
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○			
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○			
-	5-2 シラバスの入力状況	教職課程に関する授業科目のシラバスを全件、全項目について適切に入力しているか。	教養学部	教養学部長	○	△	●出席そのものを点数化して評価しているように読み取れる記載を修正する。	○	○シラバスの入力や記載内容の適切性を確保し組織的なチェックを確実にするため、「埼玉大学シラバス作成ガイドライン」を令和5年11月に作成した。
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	△	●出席そのものを点数化して評価しているように読み取れる記載を修正する。	○	○シラバスの入力や記載内容の適切性を確保し組織的なチェックを確実にするため、「埼玉大学シラバス作成ガイドライン」を令和5年11月に作成した。
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	△	●出席そのものを点数化して評価しているように読み取れる記載を修正する。 ●研究指導と同等に見られる授業科目のシラバスを修正する。	○	〃
			教育学研究科	教育学研究科長	○	△	●各回の授業内容、成績評価方法、準備学習等の記載を修正する。	○	〃
			理工学研究科	理工学研究科長	○	△	●出席そのものを点数化して評価しているように読み取れる記載を修正する。 ●研究指導と同等に見られる授業科目のシラバスを修正する。	○	〃
-	5-3 成績分布の組織的な確認状況	成績評価基準に則り教職課程に関する各授業科目の成績評価及び単位認定を厳格かつ客観的に行い、組織的に確認しているか。	教養学部	教養学部長	○	○			
			教育学部	教育学部長	○	○			
			理学部	理学部長	○	○			
			人文社会科学研究科	人文社会科学研究科長	○	○			
			教育学研究科	教育学研究科長	○	○			
			理工学研究科	理工学研究科長	○	○			

-	5-6 教員免許取得状況	教員免許取得者を輩出しているか。	教養学部 教育学部 理学部	教養学部長 教育学部長 理学部長	○ ○ ○	○ ○ ○			
	5-7 教員就職状況	教員就職者を輩出しているか。	人文社会科学研究科 教育学研究科 教養学部 教育学部 理学部	人文社会科学研究科長 教育学研究科長 教養学部長 教育学部長 理学部長	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○			
-	5-8 卒業時・修了時アンケート結果	教育課程への満足度が適切な水準を保っているか。	人文社会科学研究科 教育学研究科 教養学部 教育学部 理学部	人文社会科学研究科長 教育学研究科長 教養学部長 教育学部長 理学部長	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○			
-	5-9 FDの実施状況	教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFDを実施しているか。	人文社会科学研究科 教育学研究科 理工学研究科 教養学部 教育学部 理学部	人文社会科学研究科長 教育学研究科長 理工学研究科長 教養学部長 教育学部長 理学部長	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○			
-	5-4 実習的科目の実施状況	実習的科目を適切に開講しているか。	人文社会科学研究科 教育学研究科 理工学研究科 教養学部 教育学部 理学部	人文社会科学研究科長 教育学研究科長 理工学研究科長 教養学部長 教育学部長 理学部長	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○			
-	5-5 教職指導・進路指導の状況	教職志望を高めるための支援を行っているか。	人文社会科学研究科 教育学研究科 理工学研究科 教養学部 教育学部 理学部	人文社会科学研究科長 教育学研究科長 理工学研究科長 教養学部長 教育学部長 理学部長	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○			

【特記事項】

[5-3]

各授業科目の成績評価や単位認定を厳格かつ客観的に行うため、成績分布の目安や成績に関する組織的な点検と改善の実施などを盛り込んだ成績評価ガイドラインを令和5年1月に制定した。

【優れた成果】

・該当なし

【改善を要する点】

・該当なし